

(別紙)

伊達市長
仁志田昇司

① ご意見の骨子を箇条書きにしてください(5行以内)。

- ・ 安全神話の急変と国の初期対応から県民には行政や学者など権威に対する不信と極端な不安につながり、合理的な説明を受け付けない状況が現出。
- ・ 客観的データから、自分で安全安心を判断できる・させる環境整備が必要。
- ・ 放射能を容認した生活の安心のため、内部被ばくなどの健康管理体制が必要。
- ・ 除染を自ら取り組む体制へ誘導し、人災意識を払拭させる働きかけが必要。

② ご意見の根拠となった文献を10編列挙して下さい(10編以内)。

無し

③ 国民、特に福島県民の方々がご理解頂けるように、できるだけ平易な言葉でご意見を400字程度でまとめて下さい。

当初、我々行政当局はもちろん住民も放射能の知識は皆無という中、絶対安全と言われていた原発の突然の爆発と、国が「当面問題はない」と言う傍から次々深刻な事態が明らかになる状況から大きな不信が生まれ、それが不安・恐怖となり、その後の放射能に対する学者の科学的説明も信じられない気持ちは十分理解できるところです。

しかし、ようやくモニタリング体制の整備と共に放射能の各種データも得られつつありますので、それを基に当局や権威者からの説明も聞き、自分の安全は自分自身で判断納得して頂きたいと思います。除染は積極的に進めるとしても、しばらくの間は放射能と共存せざるを得ないのが実情でありますから、健康管理、特に内部被ばく対策のためのホールボディカウンター検査、食物検査を気軽に行える体制を整備しますのでご安心下さい。

また、地震津波の被害に対し、原発事故は人災であると言うマスコミ報道もあって、東電や国に対する不満もあるでしょうが、自分の故郷は自分で守るしかないのですから、地元自治体と共に除染にも積極的にご協力いただき、復興に全力を挙げて取り組みましょう。